

次世代エレクトロニクス研究分野創出に向けた調査研究

Investigative Study for Creating Research Field of Next-Generation Electronics

本調査研究の概要

- 研究分野が細分化され、分野横断研究が起きづらい状況を打破するため、幅広いエレクトロニクス分野から若手メンバーを集結し、その専門性を共有すると共に連携研究を提案・議論する場を設ける。
- 次世代技術に関する動向調査を行い、それを踏まえて議論することで新分野の創出。

課題：研究分野の細分化

- ✓ 分野横断の連携研究が生まれづらい。
- ✓ 各分野のインタラクションがほとんどない。

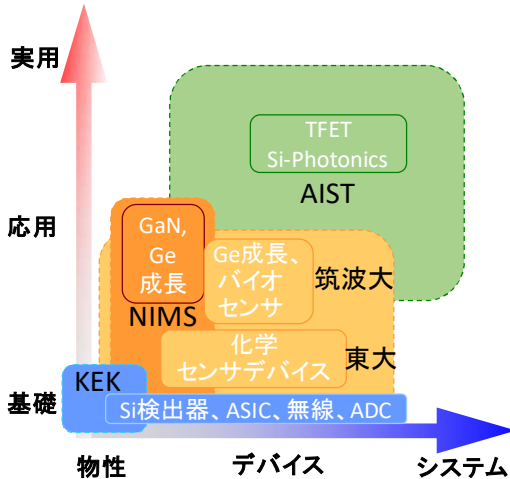


課題を打破
するため



2018年2月発足
TIA次世代エレクトロニクス
研究アライアンス(TIA-EXA)

- ✓ 材料、バイオ、デバイス、回路、フォトニクスと広域な専門を有するメンバー構成。
- ✓ 10年後、20年後を視野においた20代後半～40代前半の若手によるメンバー構成。

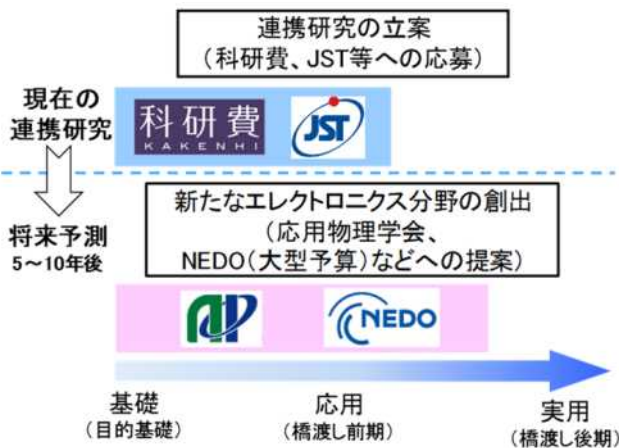


本調査研究

- 全調査研究員はTIA-EXA運営委員として参画しており、連携研究案の提案、次世代技術の動向調査、シンポジウムの開催・企画を担う。

- ✓ 幅広い分野の専門家集団による、広域分野融合した新しい連携研究案の立案、来年度以降JSTなどの外部資金への応募
- ✓ ポストムーアなどの従来の視点にとらわれない次世代エレクトロニクス分野の創出

- ✓ 異分野研究者間のネットワーキング、若手人材の発掘



【年間活動計画】

- ✓ 連携研究案と次世代エレクトロニクス技術の動向に関する勉強会及び意見交換会を、1年半程度のペースで年5回または6回開催
- ✓ 下期に調査研究の成果情報を発信するため、ワークショップ・シンポジウム(応物、展示会等)の開催